

マリン児島だより

No.29

令和2年4月発行
マリン児島地区
社会福祉協議会
(児島小学校区)
事務局 ☎472-9667
印刷: (有)タナベ印刷

三避難所に分かれて同時実施

地域の自主防災組織の結成は、近い将来に想定される大地震・津波等に対応するため児島小学校区においても喫緊の課題である。マリン児島地区社協においては、これまで毎年防災講演会を開催してきたが、今年は一歩前進し学区全地域を対象に初めての防災・避難訓練を実施した。

特に今回は、自治会連合会、社協児島事務所、災害ボランティアコーディネーター連絡会児島支部の共催を始め児島消防署、消防団児島分団、西側



児島小学校グラウンドに避難し、説明を受ける参加者

自治会主体に155名が参加

この二年間、マリン児島地区社協の皆様には大変お世話になりました。中でも、児童の学習支援では多くの方々に教えていただきました。

五・六年生の裁縫では、六月には手縫い、九月にはミシン縫いの支援をお願いしました。特に手縫いでは、初めて縫い針を使う児童が多く、一針一針手を取って教えていただきました。四十人近い児童に担任一名では十分に目が届かず、どれだけ心強かったか分かりません。

三年では、「昔の話」を聞く会・七輪体

地域の温かさに支えられ



倉敷市立児島小学校
前校長 樋口 治

教わりました。餅が膨らんだときの歓声は忘れられません。

一年では、昔遊びを体験しました。あや

自主防災会等の協力を得て大々的に実施した。

消防署・消防団も参加

避難場所は、①児島小学校②小川中公会堂③平田公会堂に設定し、もちろん地震を想定しての避難訓練なので避難所での記帳により名前を把握、続いて初期消火訓練、土のう袋作成、防災講座等三か所同時進行で訓練を実施。

三避難所の参加者は全体で155名に及び参加者も熱心に防災の大切さを実感された様子。初回の全地域訓練としては成功裡に終了した。

当日参加された地域の皆さま、そして自治会役員、愛育委員、民生委員等

自主防災組織づくりを目指して

関係者の皆さまには大変お世話になりました。児島小学校区の自主防災会組織率は必ずしも高くないので、どうか今後各地域、自治会等において防災会の結成についての検討をお願いします。

なお、ボランティアコーディネーター連絡会児島支部にお願いすれば対応いただけます。

とりやこま回しなど、六種類の遊びの名人としてお招きしました。児童を見つめる表情は、孫に接するような優しい笑顔で、本当に楽しいひと時となりました。

このように、人と人との温かいふれあいを経験することで、児童の心に優しくや信頼感が育つていくのだと思いま

す。今後ともよろしくお願いいたします。



初期消火訓練



土のう作りの体験



防災講座 (児島小学校)



小川中公会堂での防災講座



平田公会堂での防災講座

消防団員募集中!

近年は毎年のように、各地で大きな自然災害が発生しております。災害はいつ起きるかわからず、予測出来ないため、今から準備をしてすぐ対応出来るよう各自自治会や関係者との連携を図ることが必要です。そのためには、消防団組織の必要性が求められます。

今現在、消防団員の高齢化により若手の人材が不足しており、各町内より消防団員として(2~3名)ご参加をお願いします。力を貸して下さい。

【消防団連絡先】
柳 田(2部)守屋健児
090-9064-2652
上小川(3部)綾野義高
090-7372-9500
下小川(4部)川上英夫
090-7509-5003

我が地域の自主防災活動

平成25年度に立ち上げ、各町内会に避難誘導班長と10世帯程度の25グループを編成しています。活動内容は定例会を開き、名簿の更新(要援護者及び補助者を含め)及び具体的活動の検討をしています。各家庭の井戸の有無・非常時持出品セットの希望者・危険箇所の現地調査・各箇所への海抜表示・各家庭へ非常時対応とか家具転倒防止マニュアルの配布等々、又、倉敷市総合防災訓練に合わせて毎年各グループ毎に、車椅子等を利用して避難所に集合し、消防団

柳田西側自主防災会

品セットの希望者・危険箇所の現地調査・各箇所への海抜表示・各家庭へ非常時対応とか家具転倒防止マニュアルの配布等々、又、倉敷市総合防災訓練に合わせて毎年各グループ毎に、車椅子等を利用して避難所に集合し、消防団



実践さながらの避難訓練

地域の方々と共に日頃から各種災害に対する減災・防災の心構えを養って行きたいと思っています。 (会長 阿部 哲夫)

ミニ健康展

知って守ろう

自分の健康

児島愛育委員会主催により、去る2月7日(金)小川公会堂でミニ健康展が開催され、107名が参加した。



骨折リスクを予測する人気の骨折リスク測定

テーマは「知って守ろう自分の健康」で、健康チェックの体験と児島栄養委員と児島愛育委員の手作りの美味しい豚汁とおにぎりをいただいた。

測定は、体組成・足指力・握力・ストレスチェック・先着50名様までの脳年齢測定と足圧バランス測定が大好評。今年は新しく骨折リスク計算機が加わり、今後10年間の骨折発生の危険率が算出されるもので、転倒予防の意識づけができたようであった。

足圧バランス好評



107名の大参加!



児島愛育委員会、児島保健推進室主催、マリン、児島学区婦人会共催による健康ウォークが去る12月3日(火)小川中公会堂で開催された。

元気に健康ウォーク

ウォーキング先は、地域で有名な小川八幡宮迄の散策を兼ねたコースを設定。運動指導員のもとラジオ体操を行い元気に出発。到着の八幡宮では宮司さんの貴重な話に地域の方87名が耳を傾けた。

最後は美味しい手打ちうどんの振る舞いに参加者は大いに満悦。



参加者全員でハイパチリ

地域で守ろう 子どもたちの安全

1年間のパトロールを振り返っての今年の安全パトロール連絡会議が2月25日(火)児島小学校で児島警察署・児島小学校・パトロール隊員・マリン児島地区社協が出席の上開催された。子供たちの安全パトロール活動は今年で15年目を迎えるが、会議は児島警察署の生活安全課長より管内の防犯安全の状況報告やパトロールの留意点等についての話があった。

また、隊員からは子どもたちとの接点で喜びを感じたり、元気を貰ったり学校近辺の巡回を自主的に行ったりの嬉しい話や隊員の増員を求める声等、共通の課題も出された。

15年目を迎える 安全パトロール

卒寿を超えて⑩



西側 藤原 昭二さん(92才)

訪問す

ると、外まで出て迎えてくださいます。

した。いつも地域のどんぐりサロンの体操に参加され、またイノシシに悩まされながら畑作をなさっているそうです。

戦時中に、県外から彦崎へ疎開されて飛行機を作る工場へ行かれました。終戦になって運送会社、バスの運転手をなさった後に、競走会で定年まで勤務されました。ボート会館で選手たちの生活管理をするお仕事で、選手を指導する仕方が難しく苦

高齢者のつどい

楽しい催し いっぱい!

例年好評の「高齢者のつどい」が去る11月3日(日)文化の日、マリン児島地区社協主催で盛大に開催された。



恒例となったこのサロン、小川中公会堂に今年も総勢92名が参加し、記念すべきイベントとなった。出し物は、皆さん最大の関



楽しい出し物に見入る参加者



盛大に開催された今年の高齢者のつどい

慮されたそうです。コツは『叱る時は本人一人の所で、ほめる時は皆の前で』を心がけて、うまくいくようになったとのことでした。

笹川良一の言葉から、自分の出来ることを続けていこうと考えて、就労されている若い時から、運転ボランティアと視力障がい者のガイドヘルパーを続けてなさいました。平成5年には社会福祉協議会から表彰を受けておられます。

「健康の秘訣は？」とたずねると、『三食を決まった時間に、自分の作った野菜をしっかりと食べる。そしてストレスをためないのんびりした気持ちで過ごすこと。108才まで生きたいなあ。』と終始、笑顔でお話してくださいました。

(いつまでもお元気でいてください)